

略 歴 書

(公表用)

(ふりがな) 氏 名	神谷 紀子 (かみや のりこ)
学歴・取得学位	1986年3月 同志社大学文学部卒業 (文学士) 1995年3月 愛知学院大学大学院法学研究科修了 (法学修士) 1997年3月 愛知学院大学大学院経営学研究科修了 (経営学修士)
職歴	1986年9月 山田勤弥税理士事務所 入所 1997年8月 税理士登録 (名古屋税理士会所属) 1999年1月 神谷紀子税理士事務所 開設 2011年4月 税理士法人フィールド・ネクサス設立 代表社員就任 2016年9月 FNコンサルティング合同会社設立 代表社員就任 ならびにフィールド・ネクサス GROUP CEO 就任 2020年12月 しんせい総合税理士法人 代表社員就任
業績	(著書、論文、判例評釈・翻訳等) 別紙参照
	(講演・口頭発表等、学会・社会活動) NPO 法人なごや空き家相談センター 理事 名古屋市交通局 有識者懇談会委員 名古屋市子ども青少年局 保育所選定等評価委員
	(実務実績〔取扱業務等〕) 企業再編・M&A・組織再編税制・自社株対策・種類株式導入などの企業資本政策、 オーナー会社の事業承継問題・個人の財産承継・相続問題における対策、 法人税・所得税・相続税・贈与税等の申告、 税務調査対応など
プロフィール (URL)	http://www.shinseisogo.com/

※ ご所属の事務所等の個人紹介ページに上記事項が記載されている場合には、プロフィール欄に当該ページの URL をご記入頂き、「プロフィール参照」と記載して頂ければ結構です。

●主要著書等

[共編]

『実践ガイド 企業組織再編の法律と税務～連結納税制度対応版～』（清文社、2002年8月）

[単著]

『弁護士実務研修講義録』（愛知県弁護士会研修委員会、2005年12月）

[共著]

『どこがどうなる?!平成30年度税制改正の要点解説』（清文社、2018年4月）

→平成13年度～平成30年度まで 毎年出版

『図説 逆転裁決例精選50 PARTⅢ』（ぎょうせい、2017年10月）

『株式交換・株式移転 実務必携』（法令出版、2015年2月）

『会社分割 実務必携』（法令出版、2014年10月）

『連結納税制度』（法令出版、2013年2月）

『実践ガイド 企業組織再編税制』（清文社、2010年10月）

『改訂版 Q&A 自己株式の実務』（新日本法規出版、2009年12月）

『Q&A 新公益法人の実務ハンドブック』（清文社、2009年3月）

『新版 詳説/自社株評価 Q&A』（清文社、2009年1月）

『逆転裁決例精選50 PARTⅡ』（ぎょうせい、2007年6月）

『組織再編と株主資本の実務』（清文社、2007年2月）

『Q&A 株主資本の実務』（新日本法規出版、2006年12月）

『会社法関係法務省令 逐条実務詳解』（清文社、2006年8月）

『ビジネス mini 平成新法100選』（エクスメディア、2005年12月）

『新・会社法と会計・税務の対応～資本の部を中心として』（新日本法規出版、2005年10月）

『詳説 自社株評価Q&A』（清文社、2004年12月）

『新版「資本の部」の実務』（新日本法規出版、2004年3月）

『相続対策シミュレーションによる税務・法務アドバイス』（新日本法規出版、2003年12月）

『詳解 相続時精算課税Q&A』（清文社、2003年7月）

『Q&A連結納税の実務』（新日本法規出版、2003年2月）

『連結納税の計算と理論』（清文社、2002年11月） ほか

[著作]

「会計参与制度の導入と税理士等の役割」『税経セミナー』（税務経理協会、2006年4月）

「払込資本と留保利益の本質」『武田安弘先生古稀記念論文集 現代国際会計の諸問題』（税務経理協会、2003年）

「相続時精算課税制度とその活用」『週刊T&Aマスター No.9』（新日本法規出版、2003年）

「明らかになった連結納税制度と活用のポイント～連結欠損金額の処理～」『月刊税理 7号』（ぎょうせい、2002年）

「中間法人を巡る税務の課題」『市民と法 15号』（民事法研究会、2002年）

「連載 Q&A留保金課税」『週刊・税のしるべ』（大蔵財務協会、2002年）

「連載 贈与を上手に活かす方法」『週刊・税のしるべ』（大蔵財務協会、2001年） ほか

[CD-ROM]

『疑問に答える!会計参与の行動指針』（日本税理士会連合会 平成18年度 第2回マルチメディア研修会）